

# 剣淵町長 早坂純夫 新年のご挨拶



希望に満ちた新春を迎えられた町民の皆様にご挨拶申し上げます。

日頃からの町政に対する深いご理解とご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。また昨年は、町政執行4年目を迎えコロナ禍の中で無事終えることができたのは、町民の皆様のご指導・鞭撻のおかげ

げであると感謝申し上げます。さらに、力強いご支援により3期目の信任をいただけたこと、町づくりを担えさせていただけますことは光栄の限りであります。

町民の皆様と膝を交えて、町民主役の町づくりを實踐して参る所存であり、議会の皆様の審議を仰ぎ進めて参りたいと考えてございますのでよろしくお願い申し上げます。昨年の天候推移は、大雨の被害はありませんでしたが、6月中旬以降の干ばつ・猛暑により例年に無い作物の生育障害を被る結果となりました。

作物によってはばらつきがみられ、水稲においては上川管内作況指数108となる豊作の数値となりましたが、豆類においては早々に金時の収穫を諦めて廃耕された方もおり、厳しい現実となりました。大豆・小豆等も色味が悪く小粒、小麦におきましても例年の収穫を下回り、馬鈴しょ・てん菜は生育が小ぶりなど、大幅な収量減に加え、品質が悪化した残念な年となりました。これらのことを踏まえ、町といたしましても本年度の営農資金に対する利子補給を関係機関と連携を密にして実施する考えでございます

す。

一昨年からの地球規模のコロナ禍により、緊急事態宣言や非常事態宣言の中、ワクチン接種が実施されました。接種を希望された町民の方は90%を超え、重症化を防ぐ手立となれば幸いのことと胸をなでおろしているところであります。しかし、感染を防ぐものではありませんので引き続き、マスク、三密の「密閉・密集・密接」を避け、会食時は黙食に配慮をお願いいたします。なお、3回目のワクチン接種は、2月上旬からの予定でワクチン確保を進めていますのでご安心ください。

昨年の事業を振り返りますと、大きな事業の一つに光ファイバー網の全町整備があります。これは、多額の財政投資が伴うものでありますが、GIGAスクール構想や、IT農業の推進等、社会環境の画期的な変化に結び付くものと考え、未来への町づくりと考えます。

NTTからのお話によりますと、工事は予定より遅れ、今年秋ごろまで工事に時間が必要とのことであります。利用開始は早くも秋以降と想定されます。町民の皆様の活用にご期待申し上げます。

また、国の「水田活用の直接支払

交付金」の見直し方針に対しましては、町の基幹産業である農業において衝撃的な事であります。

約2,500haにおよぶ転作田に対する交付を5年間に一度も水稲の耕作が行われていない水田を除外するというものであります。

これについては、12月13日にJA北ひびき代表理事、天塩川土地改良区代表理事、1市2町の首長により上京し農水省農政局長に要望し実情を訴えて参りました。引き続き、粘り強く関係機関と共に撤回を求めて行く所存であります。

町民の生活を支えるのは、産業振興はもとより、安全であり安心であります。各種課題を検証し、解決に向けて町としてできる事を一つひとつ進めなければならないと考えています。

町民の皆様の広いご意見を頂戴し、活力ある絵本の里けんぶち町を、未来に残すための町づくりを進めたいと考えています。

今年一年、町民の皆様が健康にて、五穀豊穡の秋を迎えますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。